

〈校訓〉

夢がもてる我が母校を創ります。



港区立芝浦小学校
学校だより 令和5年10月号
発行 令和5年9月25日

芝浦だより

秋分の日

校長 井田 孝

二十四節気の秋分を過ぎ、暦の上では秋も折り返しとなりました。日中も暑さ指数が基準値を下回り、校庭は遊んでいる子供たちの声が響いています。また10月は、旧暦で神無月と呼ばれます。その語源の一説に伊勢の天照大御神以外の神々が出雲に集まり次の年について話し合うため、日本中の神様がいなくなる、というのがあります。真夏日や猛暑日の日数が記録更新というニュースが連日報道される今夏でしたが、秋の訪れや新しい年を迎える準備も少しずつ始まる季節です。

着任した初日に全校朝会があり、芝浦小の子供たちに挨拶をすることができました。900名以上が集まる様子に最初は圧倒されそうでしたが、司会が号令をかけると広い体育館が一瞬で静かになる切り替えの早さや、歌花隊のすばらしい合唱を目の当たりにし、頼もしさやうれしさで心がいっぱいになりました。また、夕刻からは、芝浦海岸町会商店会連絡協議会に佐藤副校長と参加し、ご挨拶する機会をいただきました。毎月実施される本会では、区議会議員、町会長、PTA会長、関係諸機関・委員会の皆様など、たくさんの方が集まり、子供たちや地域の活性化のために、様々なことが話し合われています。10月は、1・2日に芝浦運河まつり、7・8日に港区民まつり、14・15日に芝浦港南ふれあいまつり、22日に島まつりと、イベントが予定されています。子供たちが港区、そして芝浦の文化や歴史を学ぶ機会となることを願っています。

お彼岸の中日である秋分が過ぎ、朝晩も過ごしやすい日が多くなってきました。お彼岸から少し時期はずれますが、今年の中秋の名月は9月29日に見られます。先祖や故人を敬い、偲ぶ時間をとったり、すすきや団子をお供えし月を愛でたりするご家庭もあるのではないのでしょうか。季節の変わり目です。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、どうかご自愛ください。

